

# 静岡県立三島南高等学校第3回学校運営協議会議事録

## 1 開催日時

令和6年11月9日(土) 開会:午前10時45分 閉会:午前12時45分

## 2 開催場所

静岡県立三島南高等学校 会議室

## 3 出席委員数

4人 副会長 大嶋孝博 委員 鈴木廣幸、村上利恵子、寺村智穂

## 4 校長挨拶

学校の様子の一番ホットなトピックとしては、明日女子バレー部の全日本バレー選手権(春高バレー)県予選の決勝戦がある。4年連続富士見高校と対戦する。高校総体を含めて同じカードであり、ぜひ突破して欲しいと思っている。

来年度の高校の募集定員が発表された。本校は変更がなかったが、近隣の学校ではクラス減になっているところもあり、これから中学生の人数も減っていく中で、本校の更なる魅力化を図るとともに、クラス減を見据えた準備もしていかなければならぬと感じている。

生徒は落ち着いて学業、部活動に取組んでいる。3年次生の進路については、入学試験の合格が出始め、推薦入試も本格化してきている状況である。

教職員の退勤時刻が午後8時台から午後7時台へと、徐々に早くなってきた。近隣の学校に比べても早い方である。

## 5 議事(司会:大嶋副会長)

### (1) 「効果のある学校づくり」について(説明者:鳴門教育大学 渡邊 旬 教諭)

昨年11月に取ったアンケートで、生徒の良さと課題が見えてきた。生徒は規範意識が高く、他者への信頼も高い一方、目標設定や目的意識、自律に大きな課題があることが分かってきた。このアンケートを使って、生徒の内面を分析したデータをもとに、どうやって教育を開拓していくべきかを教員で意見を出し合った。

4月から生徒への勇気づけ、価値づけのためにポジティブなボイスシャワーを行うなど、各分掌・各学年で様々な取組が実施された。7月に中間アンケートを行ったところ、いずれの項目でも数値が上がってきた。また、取組を行うことで教員の意識も大きく変わり、生徒だけでなく教員も前向きになってきた。この良い循環を学校文化にしていきたい。今後は最終アンケートを行い、分析をする予定である。

最後に、「三島南高校協力隊へのお願い」について御案内させていただく。探究活動を行う中で、生徒が自発的にアンテナを伸ばして活動するために、地域の方々の力を借りたいと考えている。協力していただく方達をリスト化し、役立てたい。

(大嶋副会長) もともと南高の生徒は感じの良い子が多いが、一番驚いたのは、教員の先生のアンケートの数値がグンと上がったことである。教員の意識を変えることは非常に難しいが、こういった教育プログラムにより、うまく効果が出ていることは素晴らしいと思う。

また、校長が生徒の名前を覚えていることにも驚いている。生徒が自分を気にかけてくれていると知り、それが他者への信頼にもつながる。このことが教員にも波及していくって、今回のような数値が出たと思うし、とても説得力のある内容だった。

- (村上委員) 10年前に長男が卒業し、現在次男が3年次生である。昔と比べて教員が生徒に寄り添っていると感じる。生徒本人のことをよく理解し、進路のことに関しても、希望に添った方向に導いてくれている。
- (寺村委員) 生徒は毎日楽しく学校に通っており、充実した生活が送れている。教員方々の取組のおかげである。
- (鈴木委員) 目標設定を1・2年次生の早い時期に決められるようになると良い。そうすれば、3年間の高校生活や将来に向けてどのように過ごすのかを考えられる。
- (大島副会長) なりたい自分になる将来像を描くために、協力隊の事業は、生徒が社会を早く知ることができる良いきっかけになると思う。ところで、この事業をどのように周知していくのか。
- (渡邊教諭) まずは、これまで関わりのある三島市役所や三島市法人会、同窓会からスタートし、生徒の進路先である大学や専門学校も含めてリストを充実していきたい。
- 目標設定については、進路課主催で進路講演会や社会人講話を正在行っている。また、探究活動を充実させることにより、単なる進路だけでなく、本当に自分がやりたいことは何かという目標設定ができれば、主体性や自律につながると思う。
- (大島副会長) このアンケートの結果を学校の風土として落とし込んでいけるような工夫をしてほしい。

## (2) 「三南観光大使」について (説明者：渡邊 和久 教諭)

昨年度、全国ビジネスアイデア甲子園で本校生徒がグランプリを取り、三島市長を表敬訪問した際に、三南生が三島を盛り上げる企画を考えていくことになった。

そこで、新教育課程で新しく始まった商業科の科目「観光ビジネス」の中で、三島市の史跡や名所、グルメなどを学び、県外からの観光客に三島の良さを広くアピールするため、「三南観光大使」として活動することになった。

三島市ふるさとガイドの会に協力を仰ぎ、6月には横浜から観光客を招いて楽寿園などを案内し、テレビや新聞にも取り上げられた。これに加え、12月にはマイクロバスでスカイウォークや山中城などを回る「三南観光大使 三島ツアー」を行う予定である。

このほか、三南観光大使のインスタグラムを見たレストランの方からメニュー開発の話もいただき、現在企画中である。11月中にプレゼンテーションで発表し、年度内にプロモーションと販売活動を行う予定である。

(鈴木委員) 三南観光大使はどのように任命しているのか。

(鈴木校長) 「観光ビジネス」を選択している生徒を中心に行っている。本校は選択科目が多いので、少人数でこのような企画をスタートしやすくなっている。

(大島副会長) 三島市を盛り上げていただき有り難い。誰をターゲットにするかもっと明確にすると良いと思う。マップの作成など、生徒が自発的にやっているのが良い。一般の人に知ってもらえるのは、生徒の自信にもつながる。

(鈴木校長) ターゲットを広げるには、生徒の安全性に気をつけなければならないため、少しハードルが高い。このため、今は不特定多数を対象としておらず、同窓会や知人を観光客としている。

また、公務員志望の生徒の面接練習をした時、三南観光大使の活動を自分のアピール材料として、とても上手に説明できていた。

(大島副会長) ふるさとガイドに紹介しても良いのではないか。若い人と交流するのも大事だと思う。良い企画である。

(渡邊教諭) 今年度は12月7日にビジネスアイデア甲子園が行われる。2年連続出場が決まっているので是非頑張らせたい。

(3) 令和6年度PTAからの意見（説明者：副校長）

ア 学校から保護者への連絡・配信方法について

保護者あての案内など、Cラーニングに添付する等の方法を検討してほしいとの意見であるが、紙で配布するものとデータで送るものと、その時々でどちらにすべきなのか精査していきたいと考えている。

部活動の予定や日程、大会等の徴収金など、もう少し早く通知してほしいとの意見については、先を見込んで計画的に依頼するよう校内でも周知していきたい。

大雨のための鉄道運休や遅延による休校の判断や対応を早くお願ひしたいとの意見については、その時々によって状況が異なっていて、手元に届く情報が早かつたり遅かつたりするので、伝えられる時間に影響することを御理解いただきたい。

イ 教室エアコンの不調について

今年度はエアコンの不調により教室の温度が下がらない状態となった。2年次生に続き1年次生の教室も不調となり、今年度エアコンが設置された特別教室に分散させて暑さをしのいだ。そのような猛暑の中、熱中症のリスクを考え、体育着やクラスTシャツを許可してほしいという意見について、来年度も同様のことが想定されるので、今校内で検討を進めている状態である。

(鈴木委員) エアコンの不調は原因が分かっているのか。

(副校長) 原因が特定されたわけではないが、設置してから10年以上が経過し、エアコンの性能が近年の異常気象に追いついていないと考えられる。対応として、各教室に天井付けの扇風機を設置し、空気を循環させて室温を下げる対策をとる。

ウ 進路に関する講演や説明会の動画配信について

1年次生の進路説明会をリモート配信や後日動画配信してほしいという意見があつたが、進路課や教務課と検討していきたいと思っている。

(鈴木校長) 忙しい時間にリアルタイムで参加できる人が少なくなっている。オンデマンドの形を取らないと参加がなかなか難しいと思われる。

(副校長) 今年度2年次生の修学旅行説明会をオンデマンドで行った。後日録画も見ることができるようになっていたので、来年度以降もこのような形態が増えると思われる。

(村上委員) 10月9日の電車が朝から動かない時は困った。テストだったので、間に合うように車で送っていったところ、学校からテストの開始を遅らせる連絡があったので、もう少し早い対応をしてほしかった。

(鈴木校長) 朝7時すぎくらいには対応を検討し始めたが、決定するには情報が不足していたり、後から情報が入ったりして時間がかかってしまった。危機管理マニュアルで想定していないことばかり起きている。計画運休もあり、電車の情報に振り回されているのが現状である。

(大嶋副会長) 対応も事例をもとにアップデートしていくしかないと思う。

保護者あての案内のうち、紙で出さなければならないものは何か。

(副校長) 参加承諾のような署名が必要なものなどである。それ以外も紙で配布してしまっているものもあるので、校内で整理していく必要がある。

(大嶋副会長) 部活動の徴収金は部費とは違うのか。

(副校長) 每月部費を集めている部活と、遠征のための必要な金額をその都度徴収している部活とがある。

- (教頭) それぞれの部活でかかる費用が異なるので、部活動ごとに対応が異なっている。
- (鈴木校長) 顧問がある程度の見通しを持って、保護者にとって過度の負担にならないようにしていかなければならない。
- (大嶋副会長) エアコンも不調であるということだが、リモート授業で対応できないのか。
- (副校长) リモート授業は、学校側からの一方通行の配信となってしまうので、講演会などならばよいと思うが、授業としての実施は難しい部分もある。
- (鈴木校長) 特別警戒アラートが出た時などは、リモート授業も一つの方法かもしれない。

## 6 報告事項

- (1) 「三南の翼」 令和6年8月19日から23日まで実施（台湾）生徒7名参加
- (2) 部活動報告
- (3) 校外活動報告
- (4) 「つながる」（三南ニュース）
- (5) 「探究リーダー養成塾」 令和6年8月6・8・20・27日実施 6校19名参加

## 7 閉会の挨拶（大嶋副会長）

本日はたくさんの内容を協議していただいた。次回もよろしくお願いしたい。

## 今後の予定

第4回2月17日（月）または18日（火）  
11：00から13：00または13：00から15：00  
年間反省、学校評価、課題についての協議